

真夏の堺で体験する2日間のインド・フェスティバル!

日印国交樹立70周年およびインド独立75周年の節目の年にあたる今年、古来よりインドと文化的な繋がりが深い堺において、第1回「インドDAY in 堺」を開催します。

色鮮やかなダンス・音楽・食文化などを通じ、インドと堺との歴史的な絆を記念し、広く市民の方々にも楽しんでいただけるイベントです。

また、関西のインドによせて、古典写真技法を用い制作した写真展「Indians in Kansai」も、8月13日～20日、市役所高層館1階北側ロビーにおいて同時開催します。

ステージ出演者 (8月20日)



和楽器デュオ
音ノ羽-otonoha-



サニー・フランシス



ナリニ・トシュニワル

Ruchika Indian
Dance Academy



フルビ・ジャベリ

ABUNDANCE



松下陽子

スタジオプラーチャー



Prakruti

Bollymystique



中山智絵



藤澤ばやん

出店ブース (8月19・20日)

インド料理

ミルチマサラ

AMMY

ノバンノ

ドリンク

ガネーシャ ガル

ワインの紹介

ヴァルオージャパン株式会社

力車 (EV車含む) 展示

GarageBosco

展示・観覧案内

和歌山県庁/エアインディア

スパイス・お菓子

VISHWAS

インド雑貨&アクセサリー

3Queens

他出店予定あり

※出演者及び出店者については諸事情につき予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。

堺とインドの意外な!?関係

お茶とチャイ

インドも堺と同様、お茶の文化が有名です。インド人が好んで飲む「チャイ」は、紅茶を煮出し、ミルクを足してさらに煮出し、大量の砂糖で味付けしたものです。庶民的な飲み物で、道端の屋台で1杯10-20円程度です。



「南インドで布教するフランシスコ・ザビエル」(19世紀のリトグラフ)

フランシスコ・ザビエル

日本に初めてキリスト教を伝えたザビエルは、1550年末には堺に入り、豪商・日比屋了珪の支援を受けたといわれています。「ザビエル公園」は了珪の屋敷跡とも言われ記念碑が残されています。その後、中国で死去したザビエルの亡骸は、1554年、インドのゴアへ運ばれ、ポム・ジェズ教会に聖遺物として納められました。



河口慧海

明治30年代、当時鎖国状態にあったチベットへの入国を果たした河口慧海は、現在の堺区北旅籠町西に生まれました。チベット潜入前、慧海は1年ほどインドのダーズリンに滞在し、チベット語を学びました。その旅行記『西藏旅行記』は、英訳が帰国6年後にインドのマドラス(現チェンナイ)およびロンドンで出版されました。

ワークショップ

『親子でてづくり青写真』開催 8/20(土)



古典写真作家・若林久未来によるワークショップを開催します。

カードにインドのモチーフや落ち葉やスパンコールをコラージュ。日光に当ててやきつけて、水や薬をつけると…カメラなしで、きれいな青色のオリジナル写真のできあがり! 作ったものはお持ち帰りいただけます。

8月20日(土)

①13:00～

(各回先着10名さま)
所要時間 約1時間

②15:00～

※写真展会場で15分前から受付開始



- A** 親子(大人1名+小学生1名) 1,500円 ※3枚作成
*お子様1名追加500円(1枚作成)
*お子様のみの参加は不可

- B** 大人1名(中学生以上) 1,500円 ※3枚作成

持参物:エプロン(汚れてもよい服装)でお越し下さい。



写真展「Indians in Kansai」

8月13日～20日、市役所高層館1階北側ロビーにて開催。

古典写真作家

若林久未来 谷村良太